

Monthly News

No.160

令和4年度 近畿部会第162回例会

■テーマ **ヨーロッパの公文書館事情**
ーフランス・ドイツの事例に学ぶー

兼 徳島県立文書館 公文書管理保存講座

■と き 令和4年(2022)12月2日(金曜日)
14時00分~16時30分

■方 法 対面およびオンラインのハイブリッドで行います。

■場 所 徳島県立文書館 2階講座室
住所：徳島県徳島市向寺山
■徳島市営バス「文化の森総合公園」バス停下車徒歩3分
以下のウェブサイト参照のこと。

<https://archive.bunmori.tokushima.jp/article/0007305.html>

■登壇者
報告1 田中 佳 氏(徳島大学准教授)
報告2 原田 昌博 氏(鳴門教育大学教授)
司 会(質疑応答含む) 嵐 大二郎 氏(徳島県立文書館)

■定 員 対面 30名程度
オンライン 30名程度
(下記のフォームより申し込み先着順)

■参加費 無料
※参加には、**事前のお申し込みが必要**です(お申し込み方法は下記参照)。

■お申し込み方法
必ず以下の参加フォームよりお申し込みください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S81872802/>

■お申し込み締切
令和4年11月27日(日曜日)まで

■内 容

ヨーロッパ諸国は、アーカイブズ制度を生んだ場所であり、長い歴史を持っています。この度講師をお願いする、田中佳氏はフランス文化史を専攻され、フランス国立公文書館などでの資料調査経験をお持ちです。また、原田昌博氏はドイツ現代史を専攻され、現地ドイツでの資料調査の経験をお持ちです。

今例会では、おふたりが利用されていたヨーロッパの公文書館について、利用者の立場から、その利用のためのツールや、使い方、その雰囲気、また利用された施設の工夫などをお話しいただき、日本の公文書館には無い取り組みなどを学べる機会となればと考えています。

■当日スケジュール

- ・ 13:30～ 開 場
- ・ 14:00～14:10 開会・趣旨説明
- ・ 14:10～15:00 報告 1

田中 佳「フランスにおける 18 世紀史料の調査

—国立文書館、地方文書館、ルーヴル美術館資料室での経験から—

わたしは 20 年ほど前からパリにあるフランス国立文書館で 18 世紀の一次史料を調査してきました。当初は目的の史料に辿り着くにも専門知識が必要でしたが、この数年の間にデジタルシステムが飛躍的な進歩を遂げ、目的の史料へのアクセスが容易になり、未知の史料の発見にもつながりました。こうした経験に加え、地方の文書館での調査や、国立文書館と並んでよく使っているルーヴル美術館の絵画資料室のアーカイブについてもご紹介します。

- ・ 15:00～15:10 休 憩
- ・ 15:10～16:00 報告 2

原田昌博「ドイツの公文書館事情—ベルリンを事例に—」

報告者はドイツ現代史を専門としており、ベルリンの文書館をしばしば利用しています。本報告ではドイツの公文書館事情を考える事例として「ベルリン州立文書館」を取り上げ、歴史研究における文書館の意義や役割に触れた上で、同館の利用方法、史料保存、館内の雰囲気、諸活動などについて、利用者としての経験からお話します。このうち、活動については「文書館教育」に焦点をあて、その取り組みを紹介する予定です。

- ・ 16:00～16:30 質疑応答
- ・ 16:30 閉 会

※懇親会は開催しません

■お問い合わせ先

全史料協近畿部会事務局 : 徳島県立文書館

MAIL: jsai_k@bunmori.tokushima.jp

〒770-8070 徳島県徳島市八万町向寺山

TEL : 088-668-3700 FAX : 088-668-7199